

1. 定点把握対象感染症の集計(上段:患者数, 下段:定点当たり患者数)

定点 (定点数)	感 染 症 名	保 健 所 支 所					第15週 合 計	2025年 累 計
		青葉	宮城野	若林	太白	泉		
急性呼吸器 感染症 (26)	急性呼吸器感染症 ※1	506 72.29	311 62.20	194 48.50	376 75.20	323 64.60	1,710 65.77	1,710
	インフルエンザ *	4 0.57	5 1.00	1 0.25	20 4.00	15 3.00	45 1.73	4,837
	新型コロナウイルス感染症 *	11 1.57	4 0.80	6 1.50	10 2.00	12 2.40	43 1.65	2,461
	RSウイルス感染症 *	5 1.25	2 0.67	3 1.50	5 1.67	4 1.33	19 1.27	253
小児科 (15)	咽頭結膜熱 *	2 0.50	0 0.00	1 0.50	0 0.00	0 0.00	3 0.20	185
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	5 1.25	4 1.33	2 1.00	13 4.33	3 1.00	27 1.80	688
	感染性胃腸炎(小児科)	39 9.75	10 3.33	2 1.00	24 8.00	25 8.33	100 6.67	2,456
	水痘	1 0.25	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.07	99
	手足口病	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	17
	伝染性紅斑	10 2.50	1 0.33	8 4.00	16 5.33	4 1.33	39 2.60	915
	突発性発しん	2 0.50	0 0.00	1 0.50	1 0.33	1 0.33	5 0.33	67
	ヘルパンギーナ *	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0
	流行性耳下腺炎	1 0.25	1 0.33	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.13	22
	急性出血性結膜炎	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0
	流行性角結膜炎	3 1.50	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	4 0.67	67
基幹 (5)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0 0.00	0 0.00	-	4 2.00	0 0.00	4 0.80	5
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0
	細菌性髄膜炎	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1
	マイコプラズマ肺炎	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	32
	無菌性髄膜炎	0 0.00	1 1.00	-	1 0.50	0 0.00	2 0.40	2
その他 (15)	マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.33	0 0.00	1 0.07	92
	川崎病	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.33	1 0.07	7
	不明発しん症	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.33	1 0.07	29

※1 急性呼吸器感染症(ARI)は、急性の上気道炎または下気道炎を指す病原体による症候群の総称です。*印の感染症が含まれます。

※ 記載データは速報値です。

※ 令和7年4月7日より市内定点医療機関数に変更になりました。

2. 発生状況

1 全数把握対象感染症

E型肝炎 1例, 侵襲性肺炎球菌感染症 1例, 梅毒 2例(早期顕症Ⅰ期), 破傷風 1例, 百日咳 3例

2 定点把握対象感染症

(1) 特に増減が確認された感染症

感染性胃腸炎(小児科): 仙台市全体の定点当たり報告数は前週比-8%で2週連続減少した。

伝染性紅斑: 仙台市全体の定点当たり報告数は前週から横ばいで、警戒を要する状況が続いている。

新型コロナウイルス感染症: 仙台市全体の定点当たり報告数は前週比-9%で2週連続減少した。

(2) 入院患者の発生状況(基幹定点)

① インフルエンザによる入院患者 1例

② 新型コロナウイルス感染症による入院患者 14例

(3) 病原体定点医療機関からの検体の提出状況

SARS-CoV-2 1件(第15週採取分), パラインフルエンザウイルス 4件(1型及び4型 各1件[第14週採取分], 2型 2件[第14週及び第15週採取分]), ライノウイルス 1件(C型[第14週採取分]), インフルエンザウイルス 1件(AH1pdm09型 1件[第15週採取分])

3 特記事項(2025年4月13日現在)

～急性呼吸器感染症(ARI)～

令和7年4月7日より、急性呼吸器感染症(ARI)が新たに感染症法上の5類感染症に位置付けられ、全国で発生状況の把握(サーベイランス)が開始されました。仙台市における発生状況は、感染症発生動向調査情報(週報)の集計表に毎週掲載します。

～伝染性紅斑(りんご病)～

仙台市内の第15週の定点当たり報告数は、前週から横ばいで推移しており、依然として警戒を要する状況が続いています。咳エチケットや流水による手洗いなど、日頃から感染予防を心がけましょう。

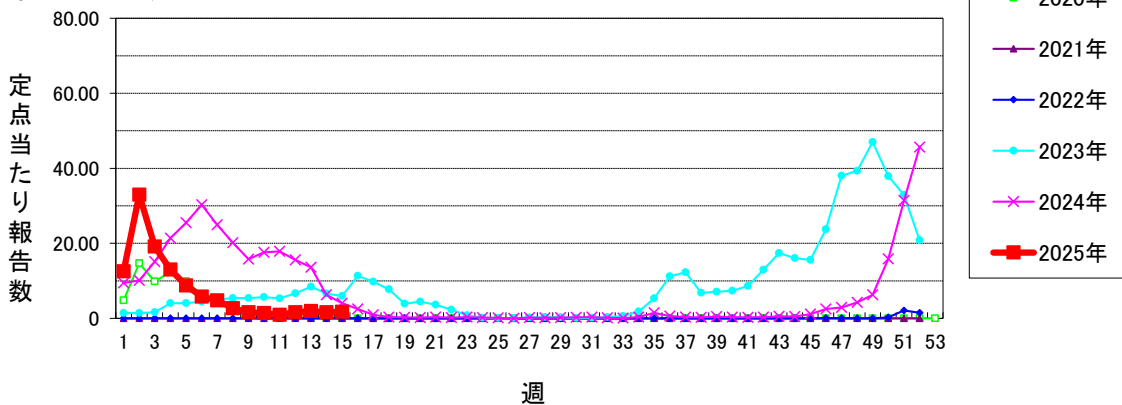
～百日咳～

百日咳の報告数は全国的に増加傾向を示しており、2025年第14週(3月31日～4月6日)の1週間で全国の医療機関から報告された患者数は、現在の集計法になった2018年以降最多となっています。また、仙台市内の2025年の報告数は、第15週までに8例となっており、2024年の1年間における報告総数(速報値)5例を既に上回っています。さらに感染が拡大する可能性がありますので、今後の動向を引き続き注視するとともに、咳が長引く等の症状がある場合は早目に医療機関を受診してください。

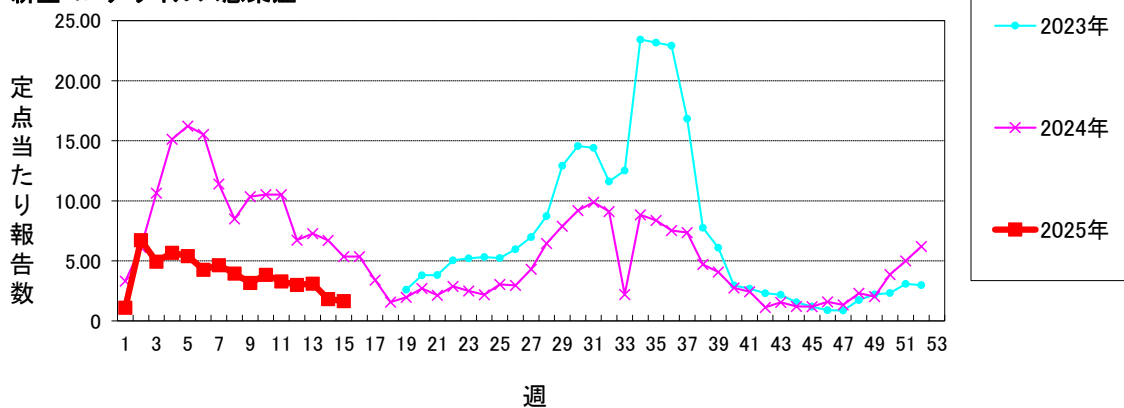
仙台市定点週報告対象疾病の推移(1)

〈2025年 第15週〉

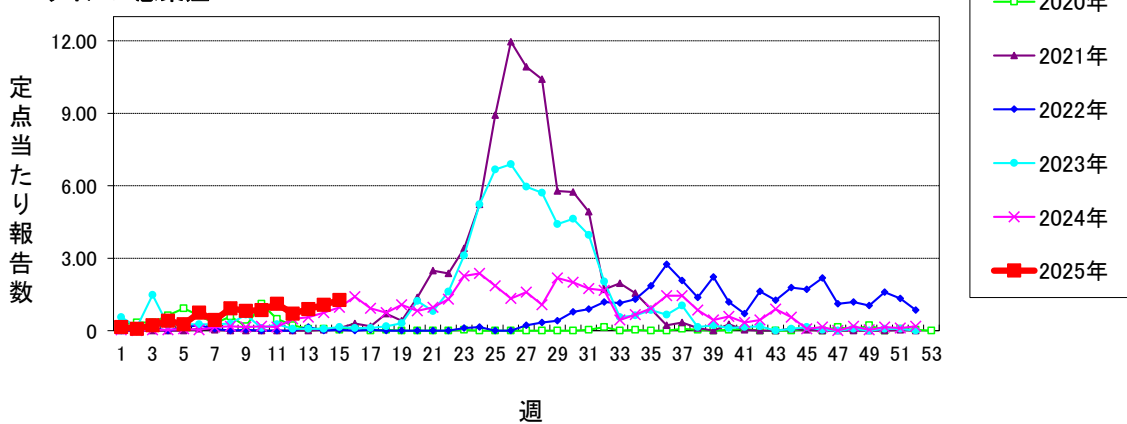
インフルエンザ



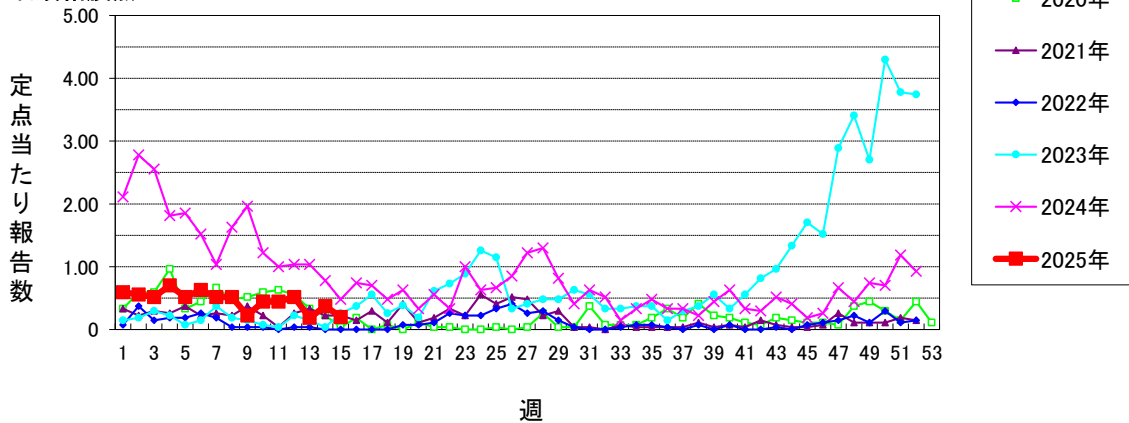
新型コロナウイルス感染症



RSウイルス感染症



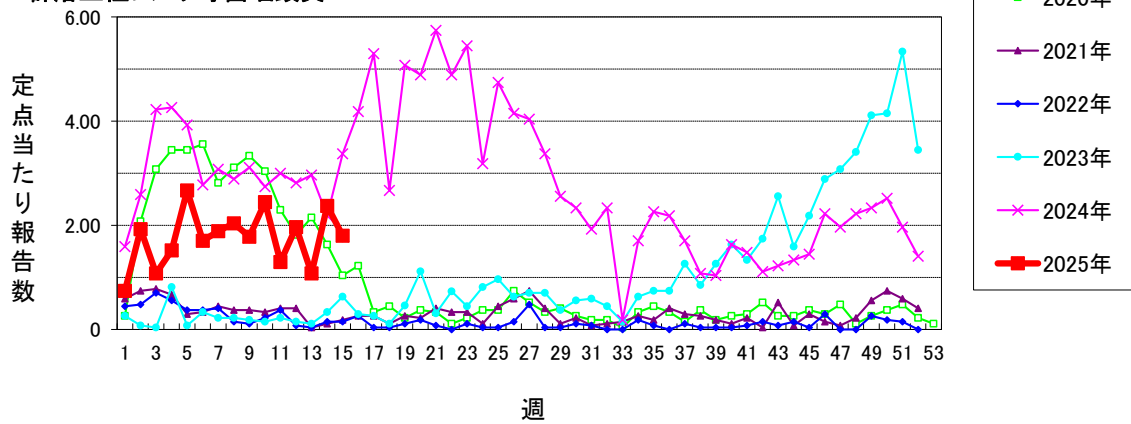
咽頭結膜熱



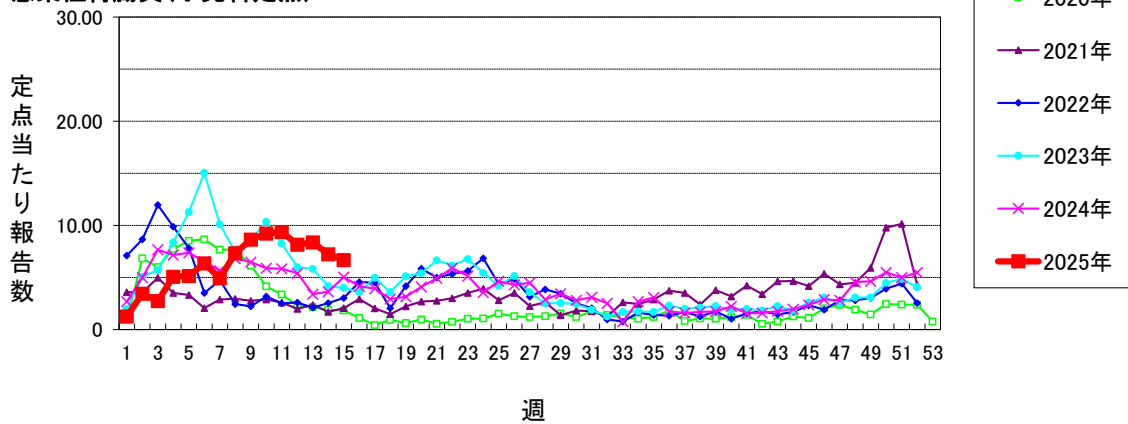
仙台市定点週報告対象疾病の推移(2)

〈2025年 第15週〉

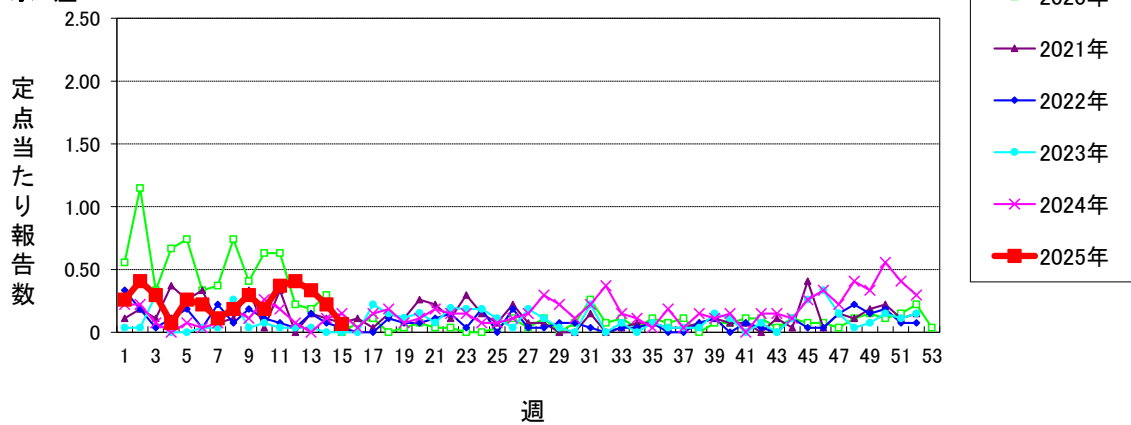
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



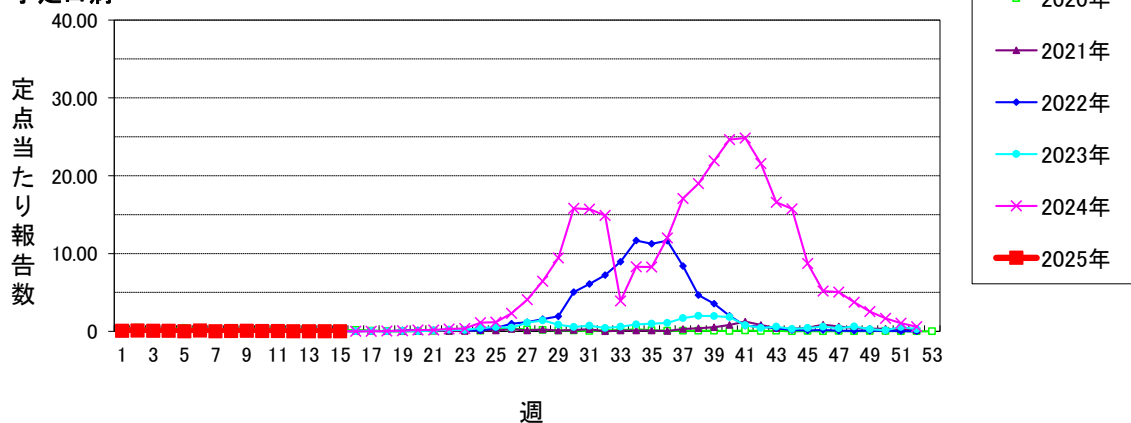
感染性胃腸炎(小児科定点)



水痘



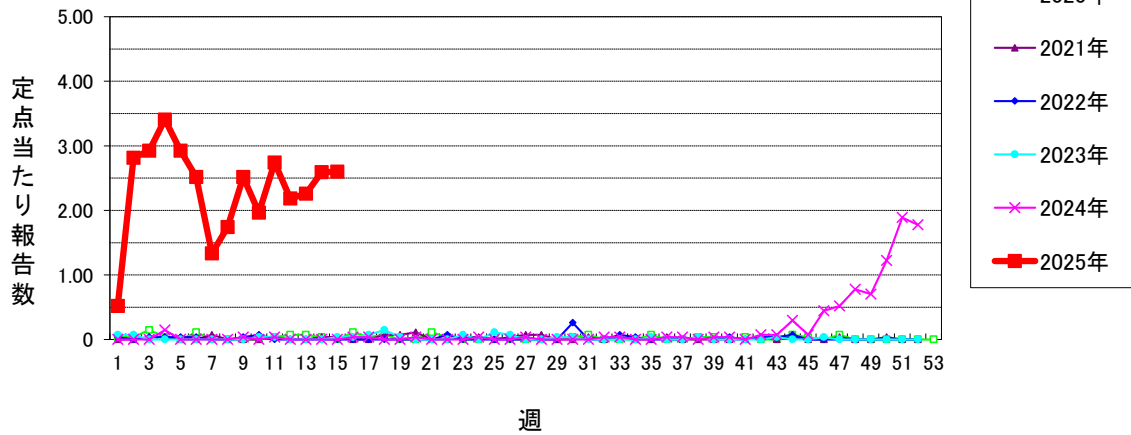
手足口病



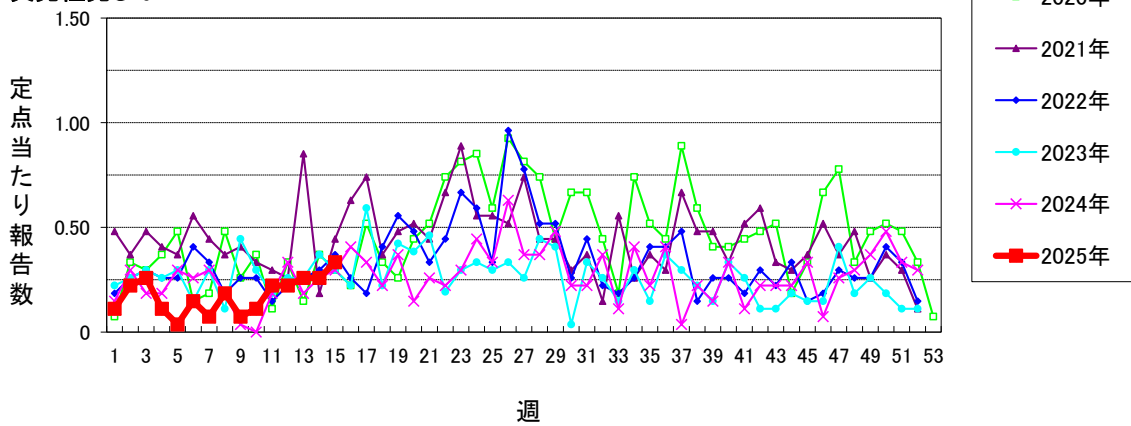
仙台市定点週報告対象疾病の推移(3)

〈2025年 第15週〉

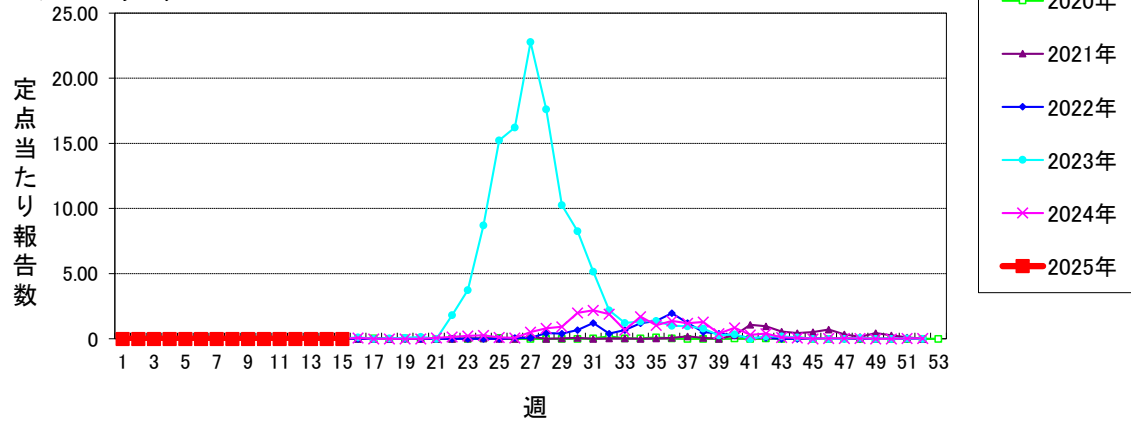
伝染性紅斑



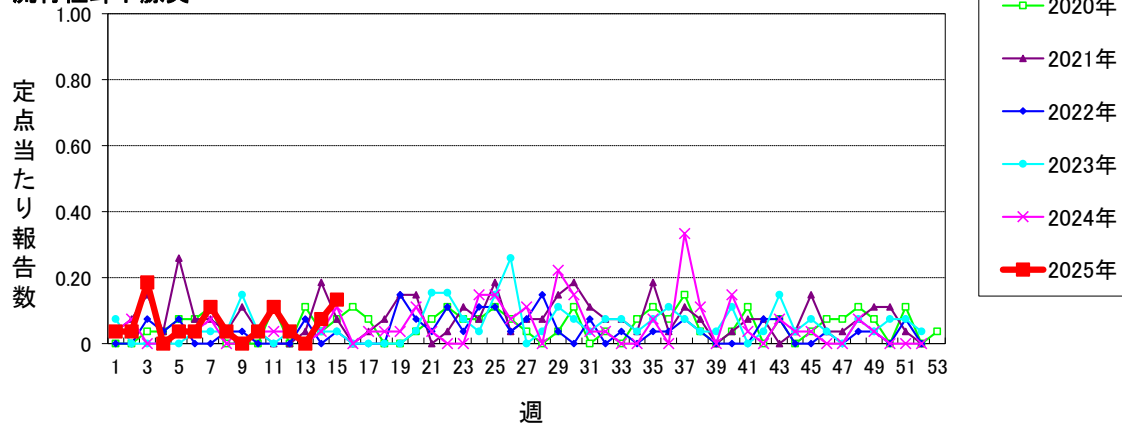
突発性発しん



ヘルパンギーナ

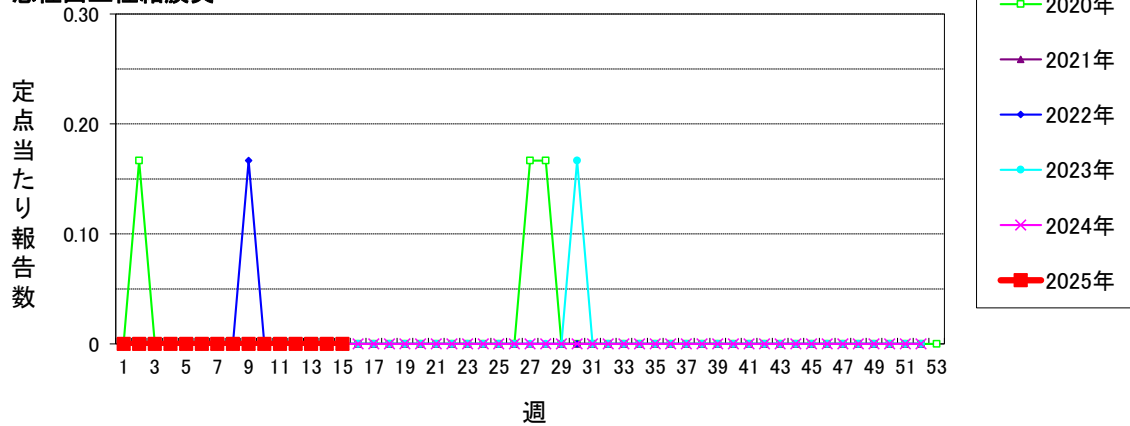


流行性耳下腺炎

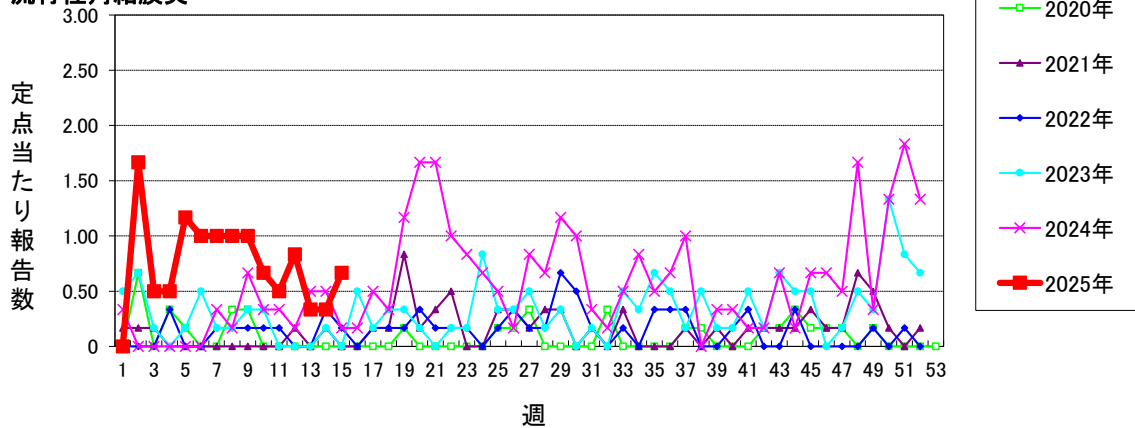


〈2025年 第15週〉

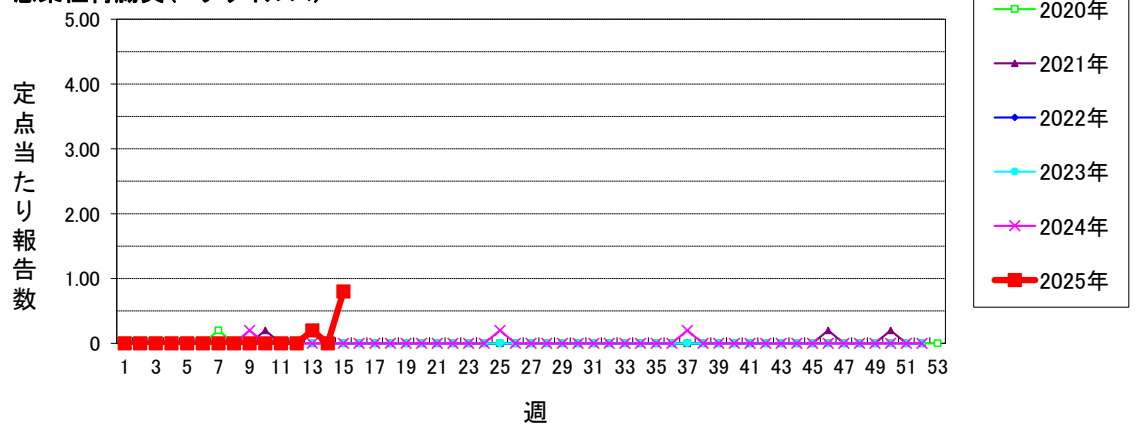
急性出血性結膜炎



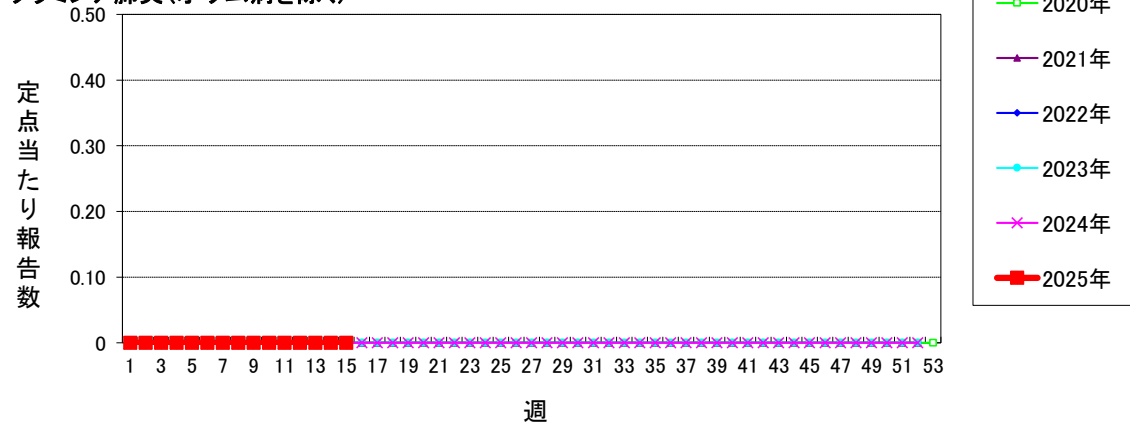
流行性角結膜炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

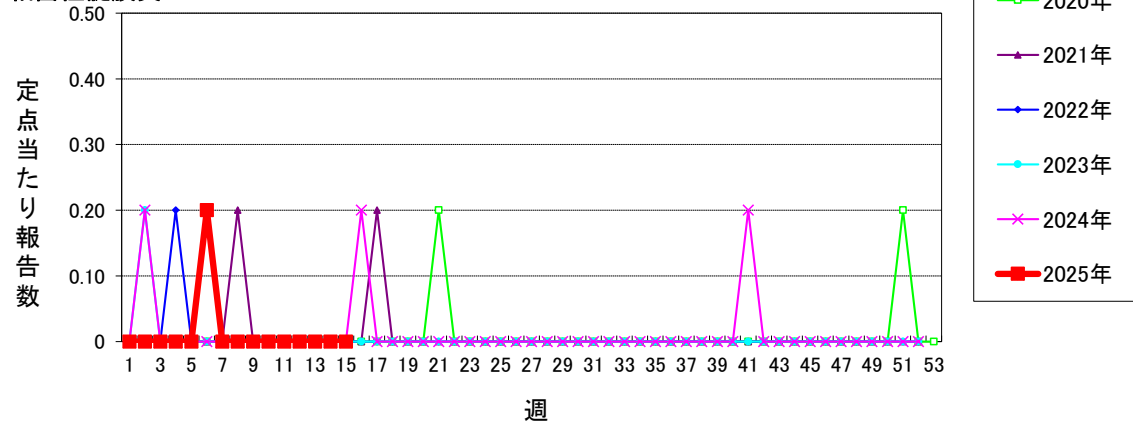


クラミジア肺炎(オウム病を除く)

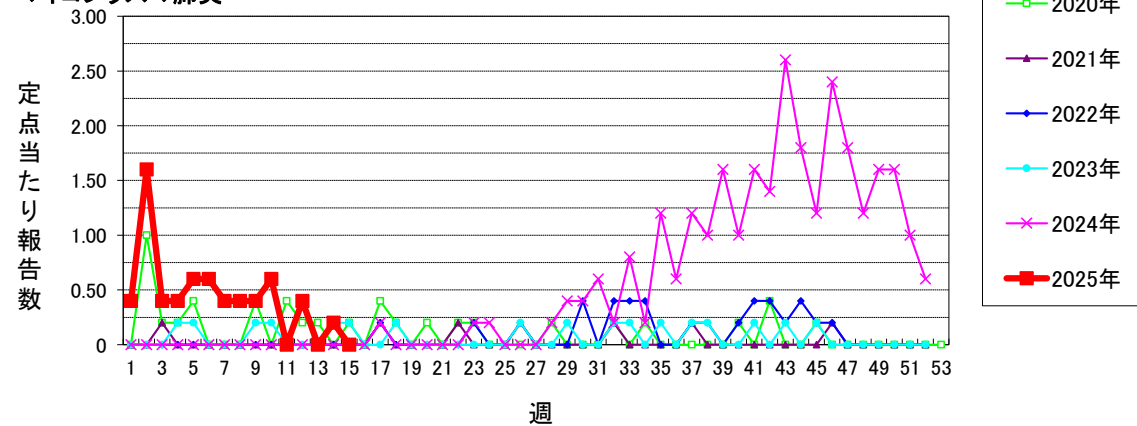


〈2025年 第15週〉

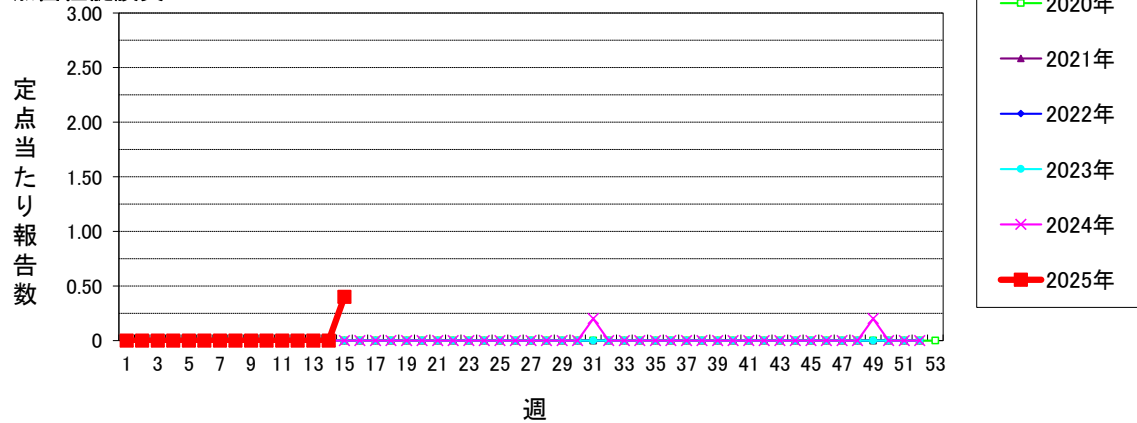
細菌性髓膜炎



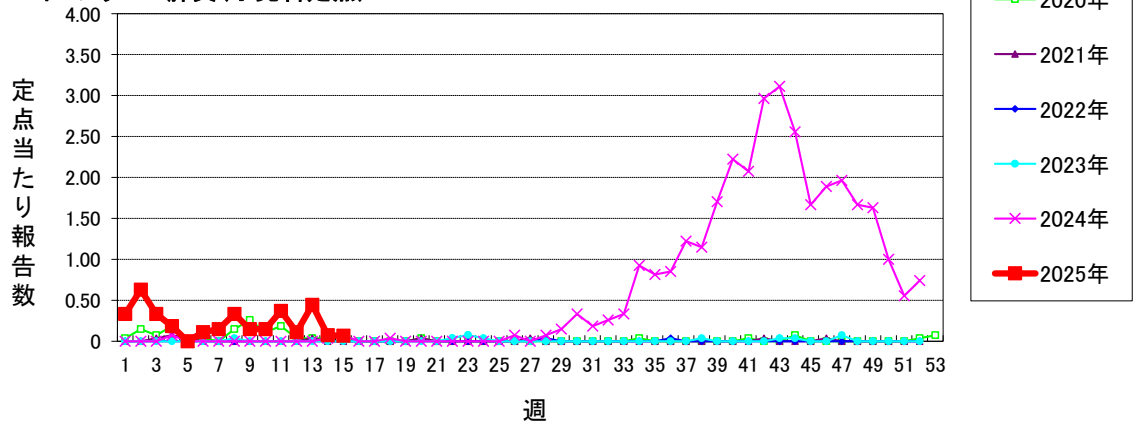
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎

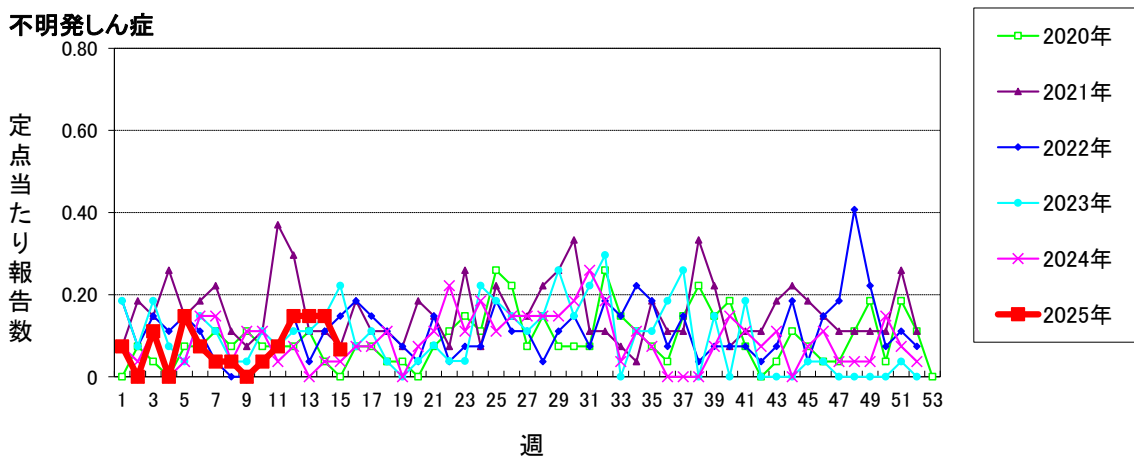
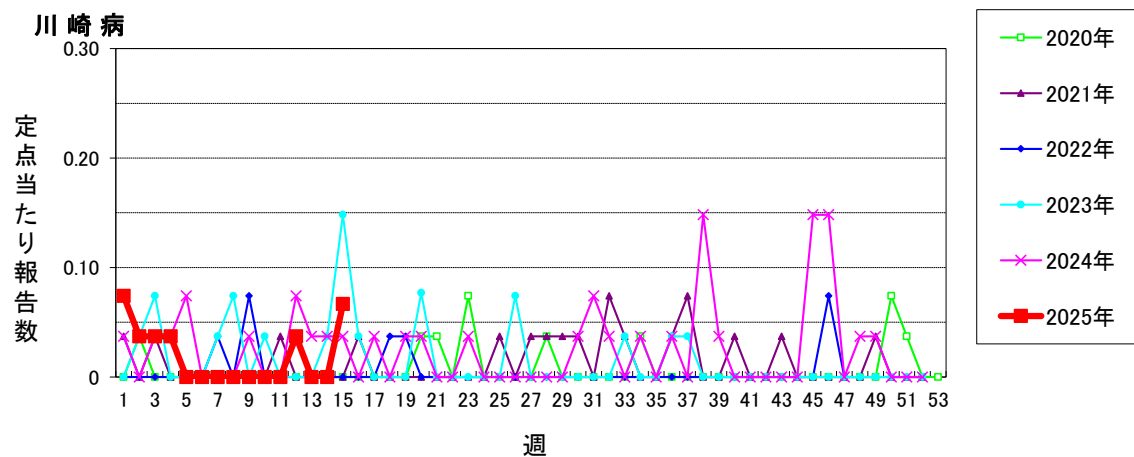


マイコプラズマ肺炎(小児科定点)

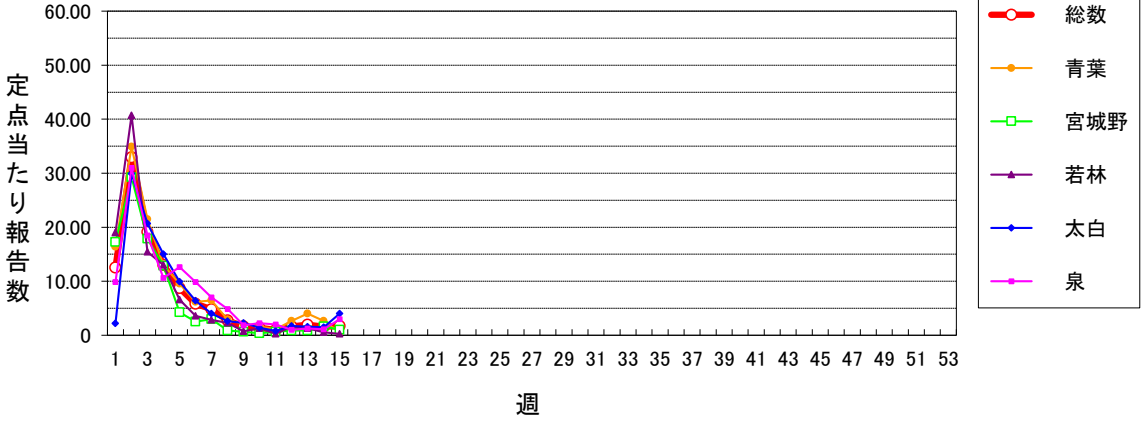


仙台市定点週報告対象疾病の推移(6)

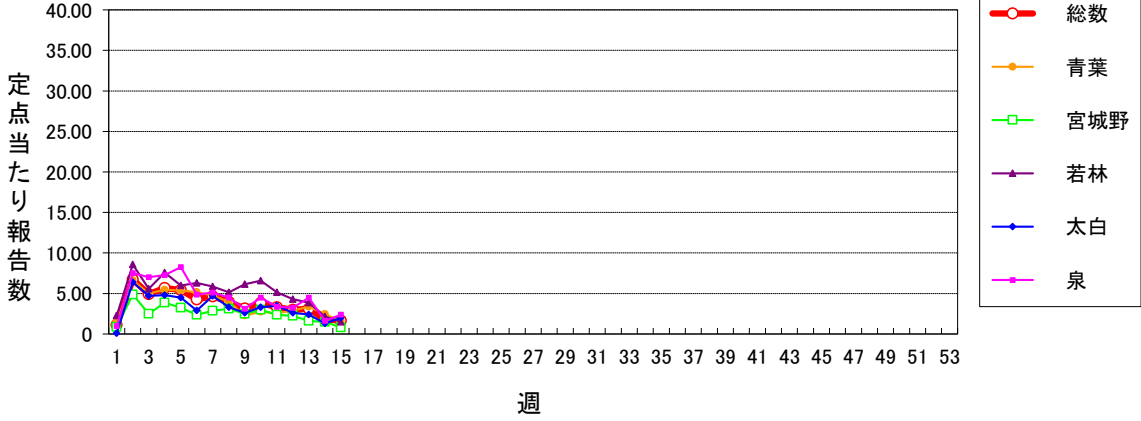
〈2025年 第15週〉



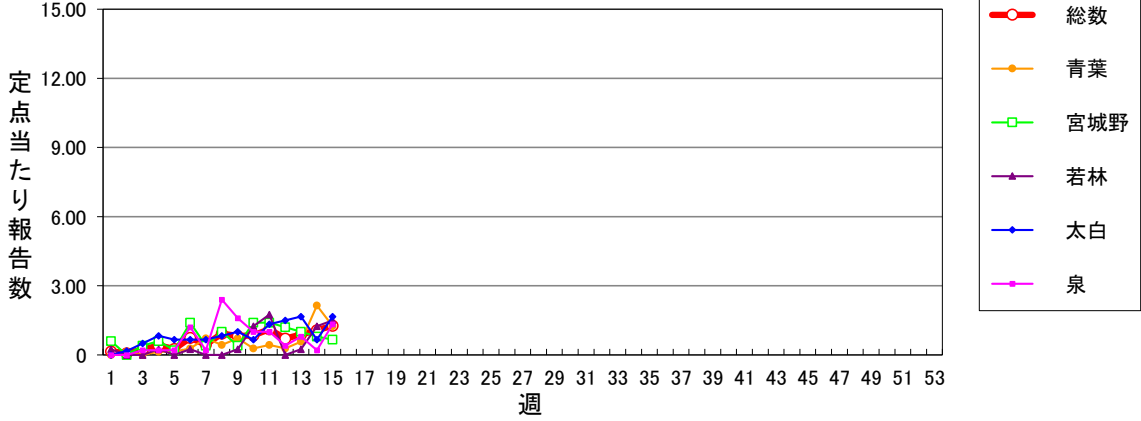
インフルエンザ



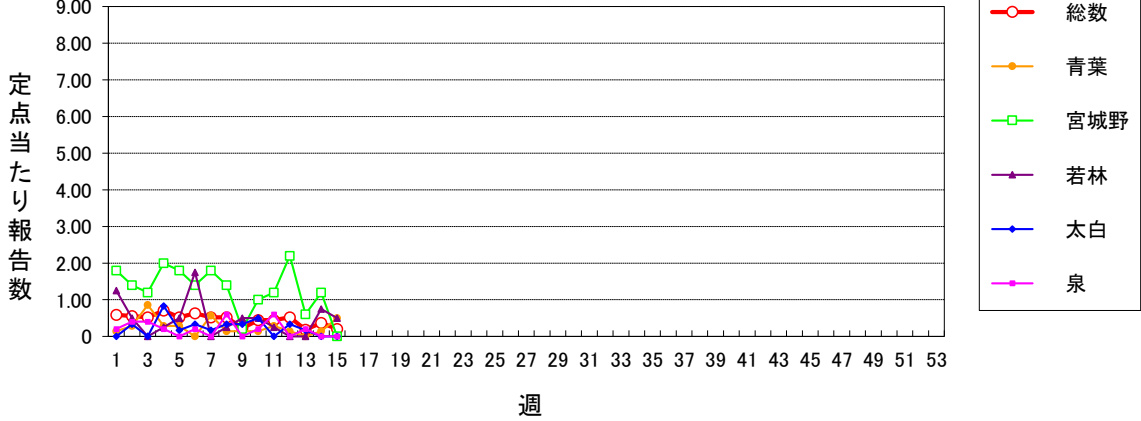
新型コロナウイルス感染症



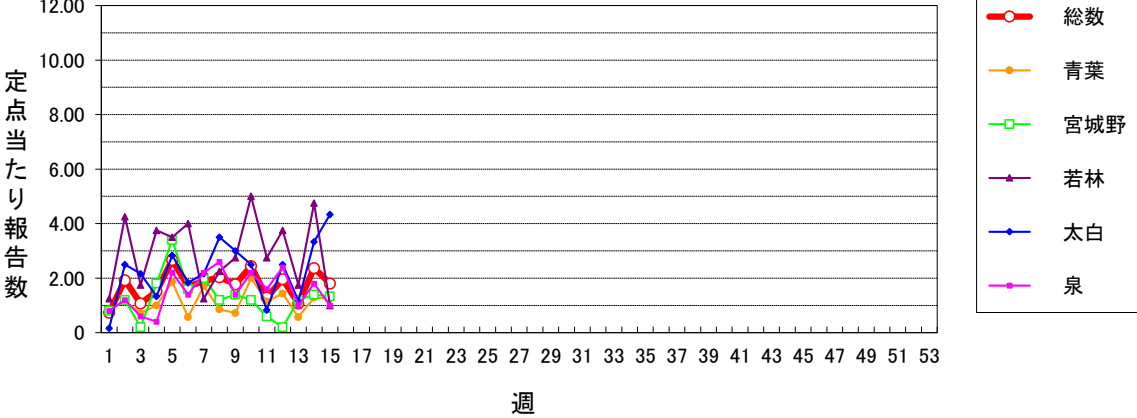
RSウイルス感染症



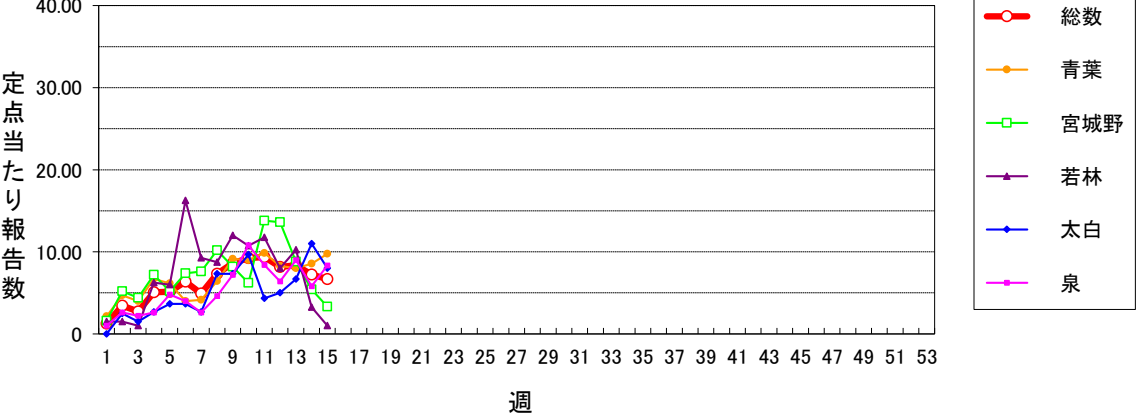
咽頭結膜熱



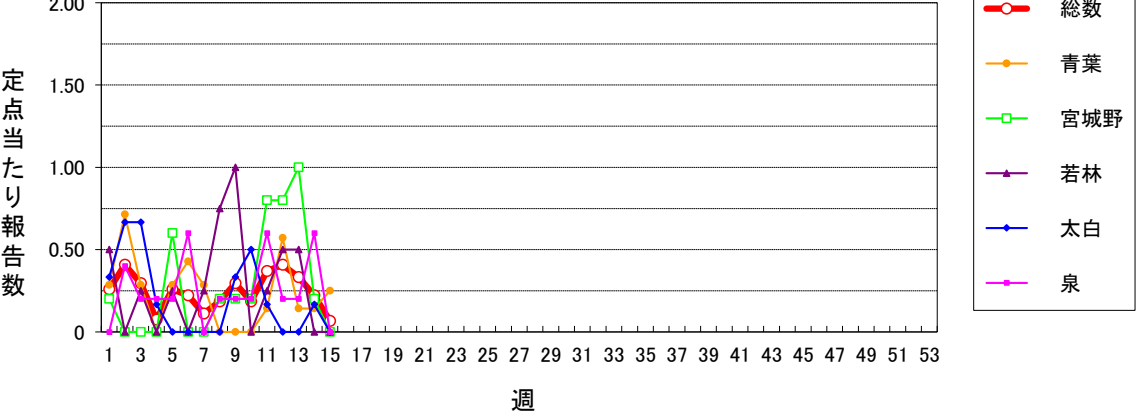
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



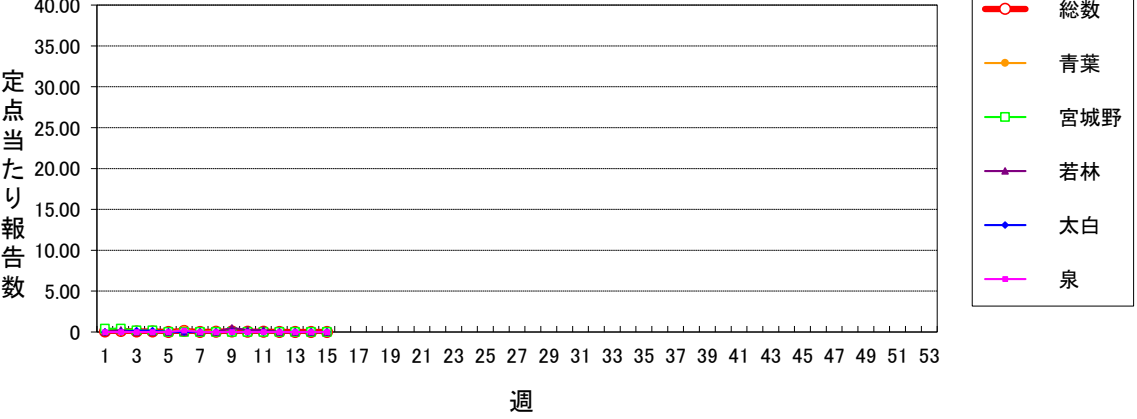
感染性胃腸炎(小児科定点)



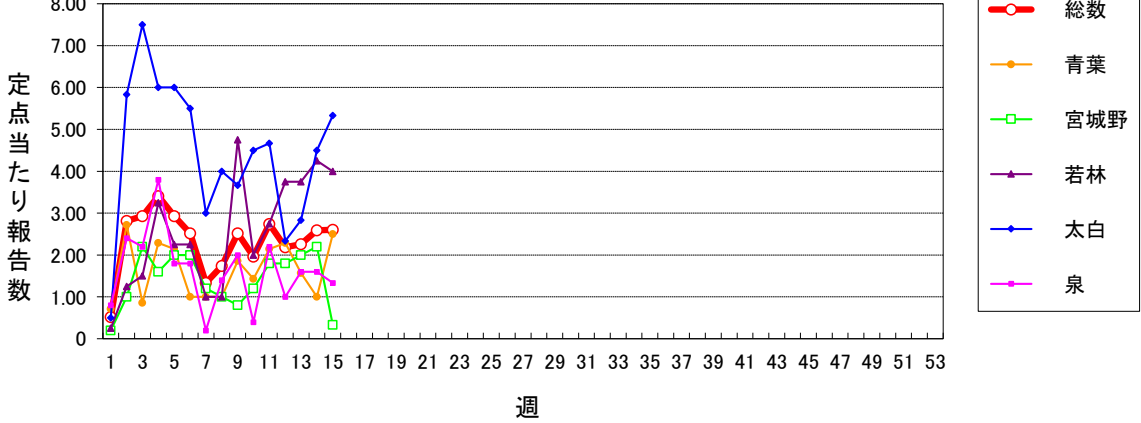
水痘



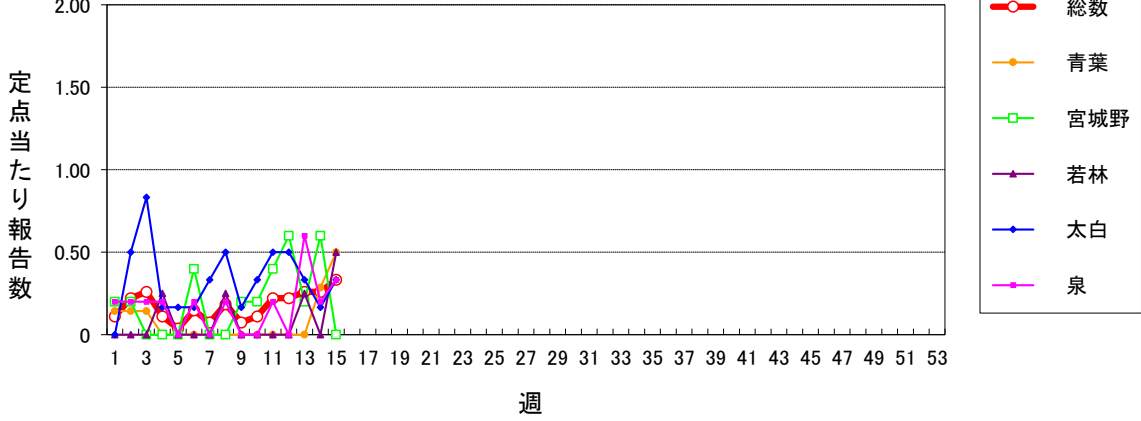
手足口病



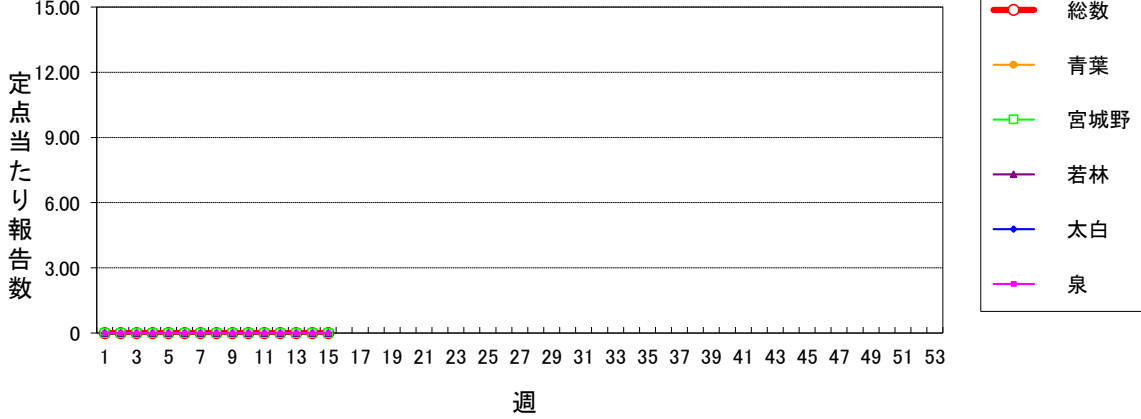
伝染性紅斑



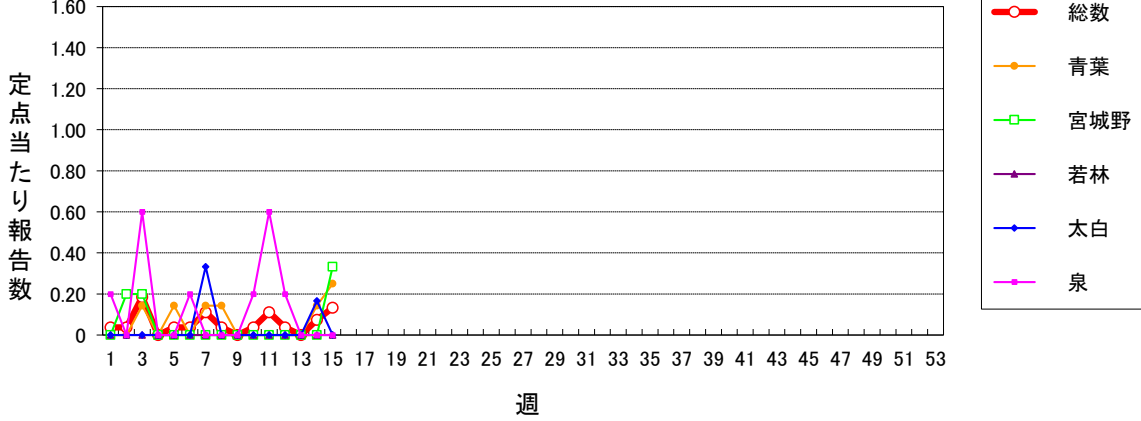
突発性発しん

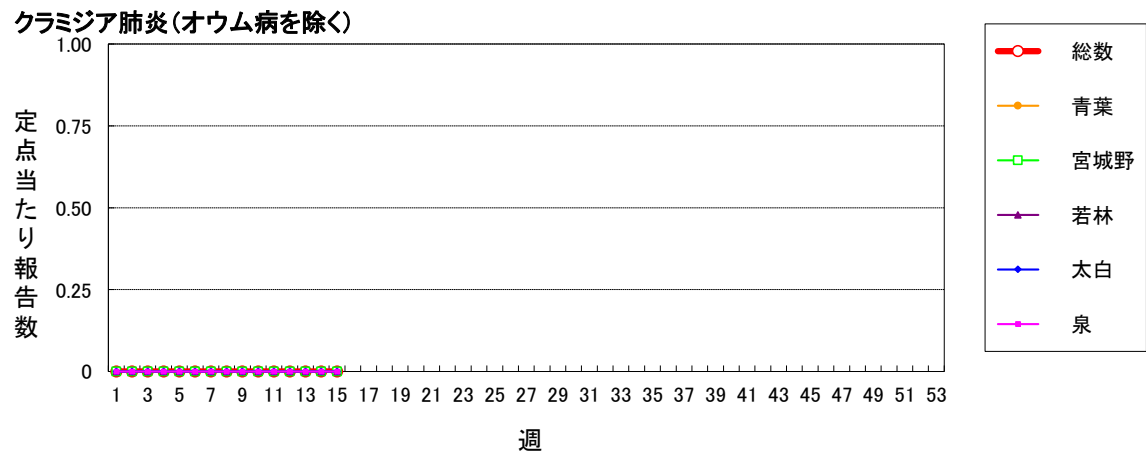
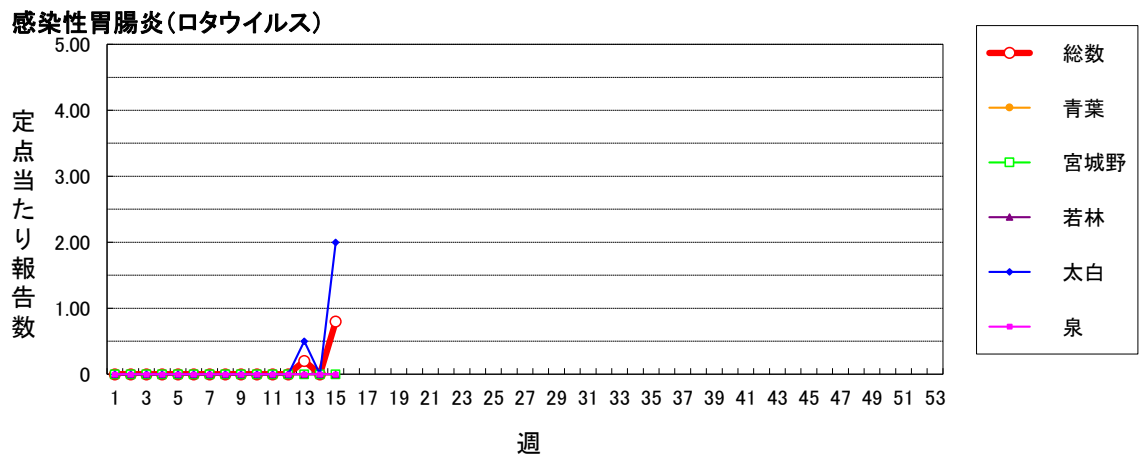
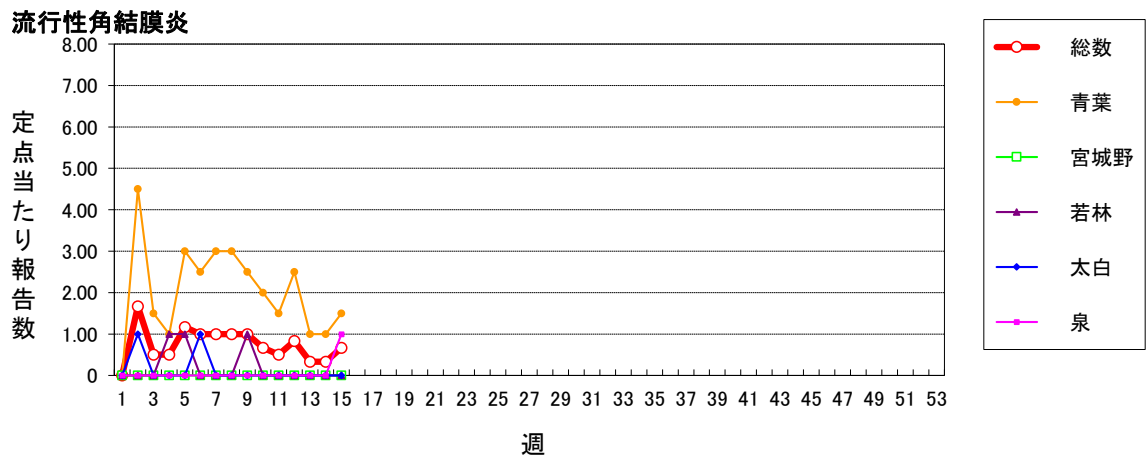
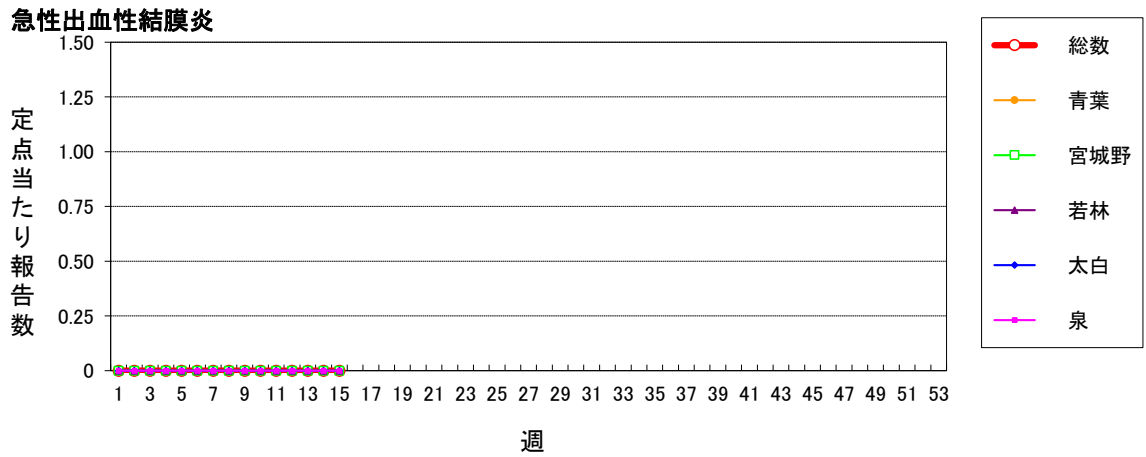


ヘルパンギーナ

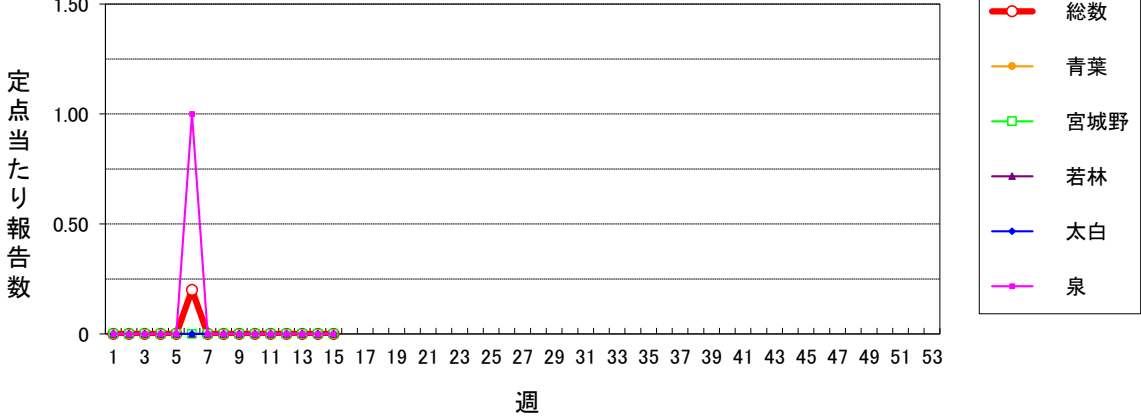


流行性耳下腺炎

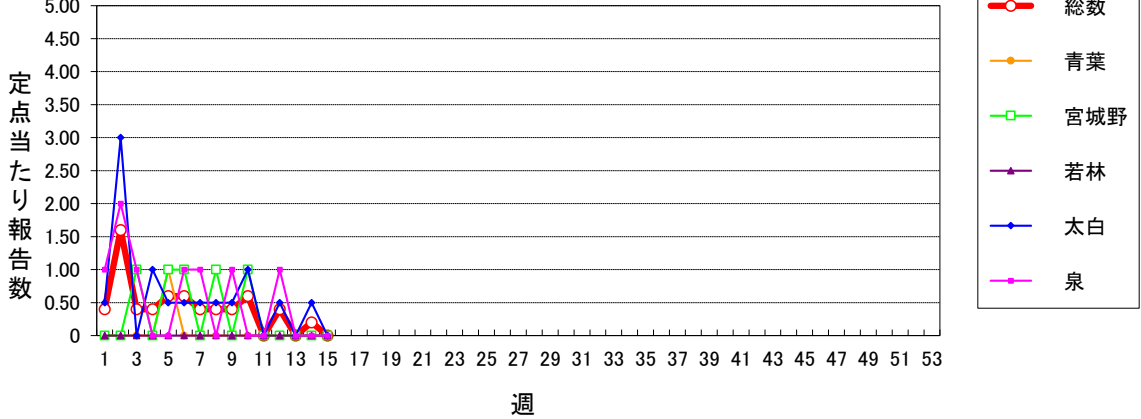




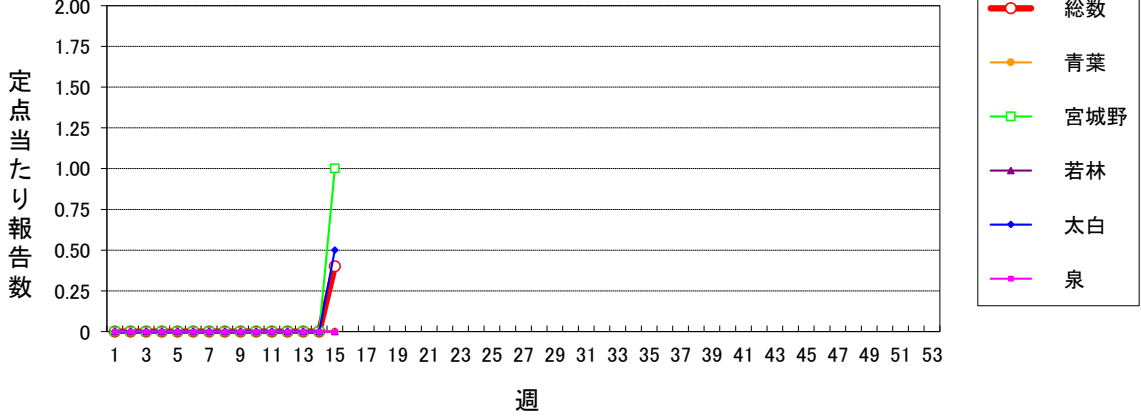
細菌性髄膜炎



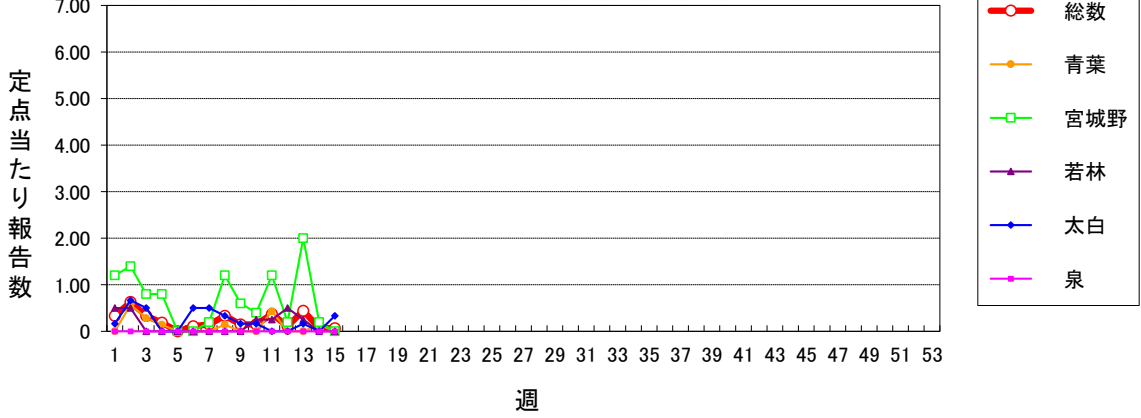
マイコプラズマ肺炎

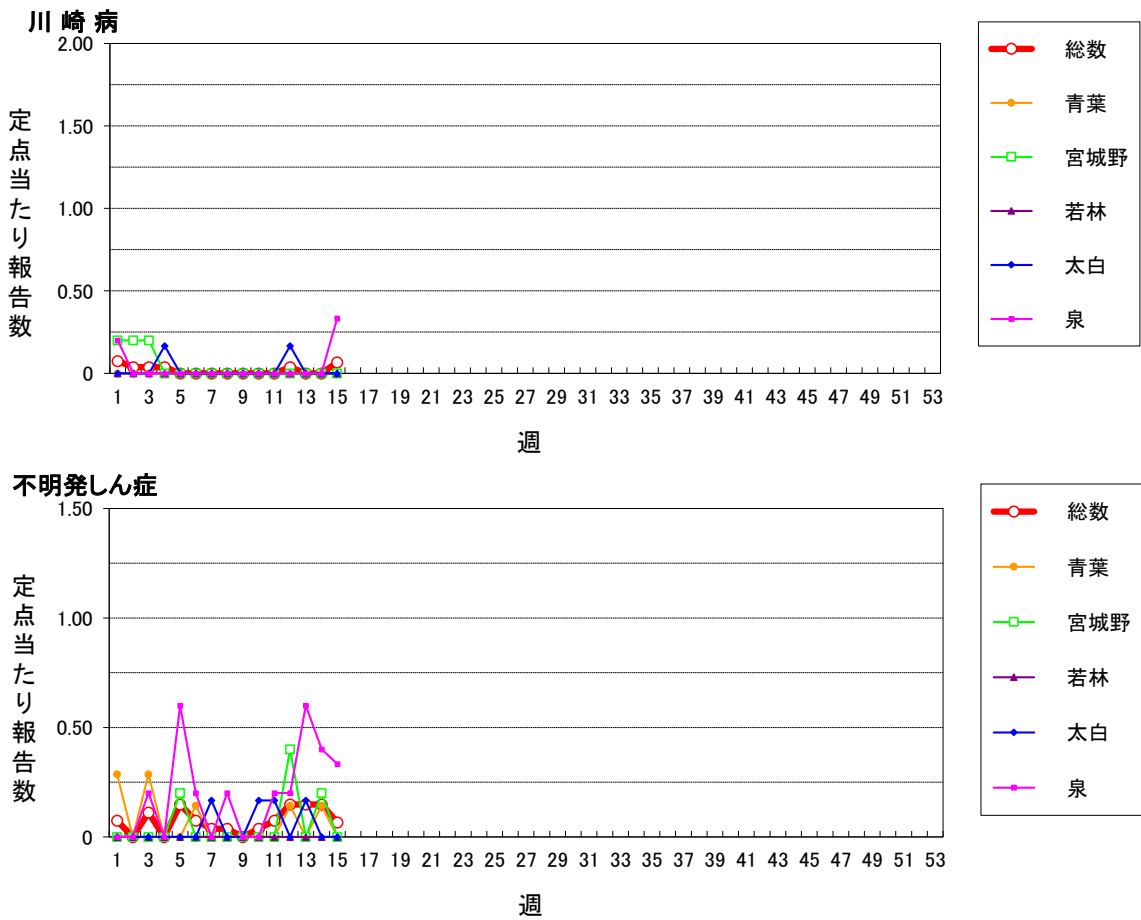


無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎(小児科定点)





2025年仙台市全数報告感染症発生状況

注)医師の診断日による分類

注) 医師の診断日による分類